



迅速検査機バクテスターによる浮遊菌抑制試験報告書

株式会社 HACCP ジャパン

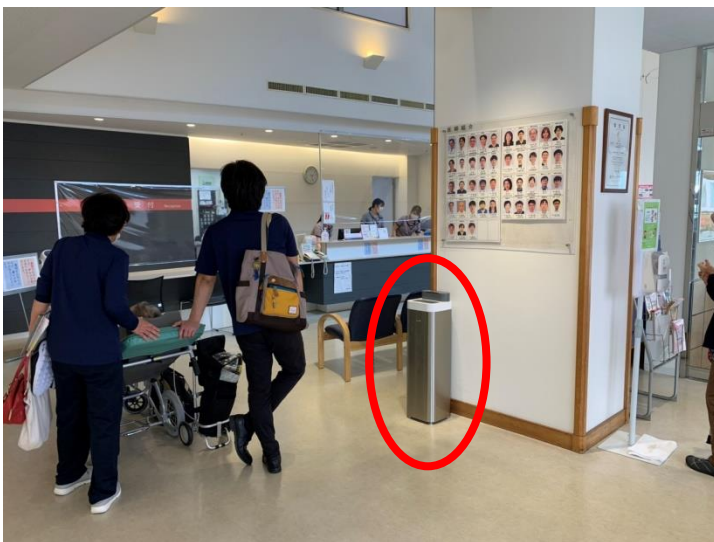
担当：林 弘樹



【実施日】 2020 年 6 月 16 日

【測定環境・測定場所・設置場所】

◆社会医療法人シマダ 嶋田病院様 待合室



【測定方法】

亜塩素酸水を空間除菌デバイス「DevirusAC」にて一定時間噴霧し、迅速検査機バクテスターと液中遠心分離方式エアースAMPLER「コリオリスμ」にて、浮遊細菌数を測定した。

【測定条件】

- ・室温にて計測。
- ・各菌数については、1ml中の菌数を集計しております。

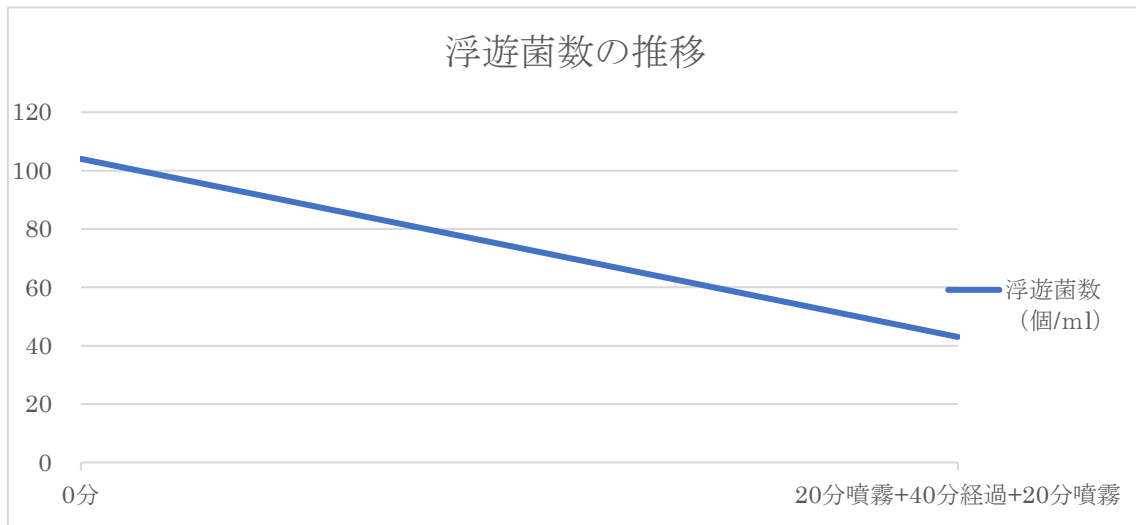
【前処理】

「コリオリスμ」にて100ℓ/分サンプリングを行い、捕集液を1万倍希釈し、測定。

【測定結果】

No.	倍率	時間経過	浮遊菌数 (個/ml)	減少数 (個/ml)	減少率 (%)
1	1万倍	0分	104	-	-
2		20分噴霧+40分経過+20分噴霧	43	61	59%

(測定場所：社会医療法人シマダ 嶋田病院様 待合室)

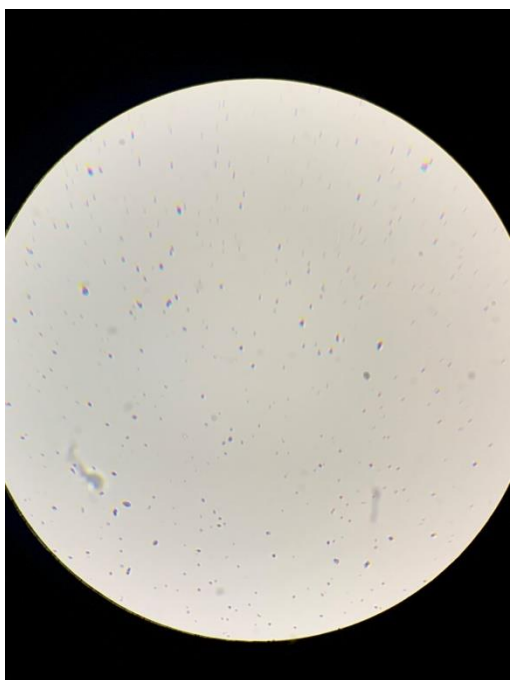


※検査環境は開放空間で100㎡以上かつ受付のため、検査時には人の出入りは1時間に30名弱。

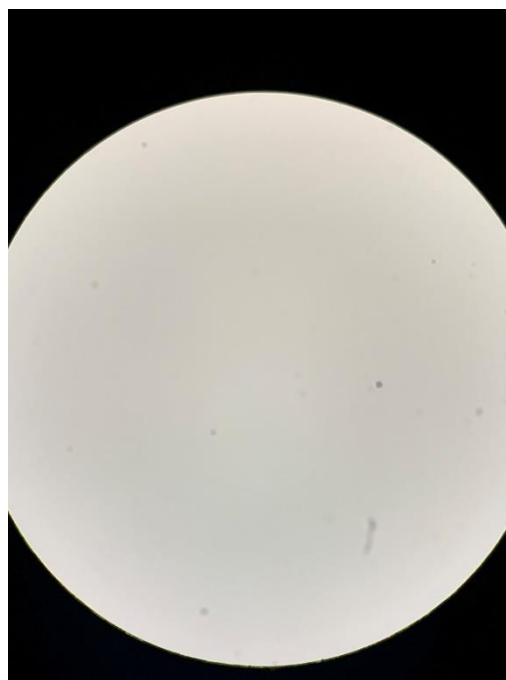
上記検査環境における亜塩素酸水の継続性を確認するため、20分噴霧し、噴霧から40分経過したのち、20分噴霧直後を測定。貴社待合室における利用においては、使用環境（面積や患者様の来院頻度など）から判断すると、1時間あたり20分噴霧+40分経過の間欠運転が適しております。

このサイクルの間欠運転を継続することでさらなる菌数の減少が見込めます。

【蛍光顕微鏡による画像】



<before>



<after>

画像からも菌数の減少が判断可能となっております。

以上